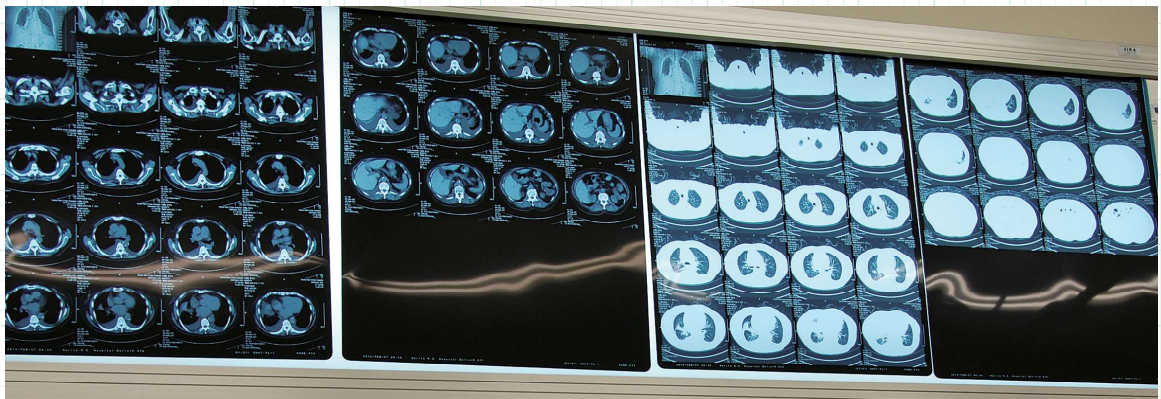


Japanese Red Cross Narita Hospital

消化器内科

当消化器内科は救急処置を必要とする急性の病気から肝炎、肝硬変、消化器ガンなどの慢性の病気まで幅広く対応する医療を心がけています。



第一消化器内科部長

福田 和司

01 研修期間

6～12 ヶ月以上

02 目的

内科学会認定内科医取得に十全な臨床知識および経験をつみ、内科医として見識と自己研鑽能力の基礎を作る。またその基礎の上に消化器内科医となる臨床経験をつむ。

03 到達目標

消化器内科で遭遇するcommon disease に対し、primary care としての対処を自らの判断で一通り施行できる能力を身につける。必要に応じて専門医に相談すべき病態か否かを判断することができる。

04 取得すべき手技

初期研修医は手技の取得できる期間の研修では無いため、検査、処置の流れや侵襲の程度などを見学してもらう。

専攻医はあらゆる診断、治療手技に参加し、助手より開始し、術者としての経験を積んでいく、取得できる手技は研修期間、それまでの経験による。

05 研修期間中に経験する疾患

消化管出血(食道静脈瘤破裂、胃・十二指腸潰瘍、大腸憩室出血など)、大腸炎(感染性、虚血性、憩室炎など)、急性腹症(消化管穿孔、虫垂炎、イレウス、急性胆嚢炎、急性胆管炎、急性膵炎など)、消化器悪性腫瘍(食道癌、胃癌、大腸癌、肝細胞癌、胆道癌、膵癌)、炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎、クローン病)、慢性肝炎・肝硬変等の消化器疾患全般

